

復活～ヨナの上るし～

シリーズ～預言者の声～

2022/4/17 イースター

復活についての旧約聖書の預言

- ペトロが引用した詩編16篇
 - 「ダビデは預言者だったので、…キリストの復活について前もって知り、『彼は陰府に捨てておかれず、その体は朽ち果てることがない』と語りました。神はこのイエスを復活させられたのです。わたしたちは皆、そのことの証人です。」
使徒2:30-32
 - 「あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく／あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず」
詩編16:10

イエス様ご自身による預言

・マタイ福音書

- ① 「このときから、イエスは、御自分が必ずエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっている、と弟子たちに打ち明け始められた。」16:21
- ② 「一同が山を下りるとき、イエスは、『人の子が死者の中から復活するまで、今見たことをだれにも話してはならない』と弟子たちに命じられた。」17:9

- ③ 「一行がガリラヤに集まったとき、イエスは言われた。『人の子は人々の手に引き渡されようとしている。そして殺されるが、三日目に復活する。』弟子たちは非常に悲しんだ。17:22-23
- ④ 「今、わたしたちはエルサレムへ上って行く。人の子は、祭司長たちや律法学者たちに引き渡される。彼らは死刑を宣告して、異邦人に引き渡す。人の子を侮辱し、鞭打ち、十字架につけるためである。そして、人の子は三日目に復活する。」20:18-19
- ⑤ 「しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」26:32

死と復活を予告されたイエス様

- 厳密かつ正確な死の予告

- 場所:エルサレム
- 相手:祭司長や律法学者に引き渡され、更に異邦人に引き渡される
- 過程:多くの苦しみ・侮辱・鞭打ち
- 方法:十字架

- 厳密かつ正確な復活の予告

- 時間:三日目に
- 方法:死者の中からの復活(蘇生ではない)

受難と復活の預言

- 受難の予告を信じられなかった弟子たち
 - イエス様は繰り返し、ご自分の受難(死)と復活について、明確に予告しておられた
 - 弟子たちは、そんなことが起こるとは夢にも思っていなかった
 - 死刑になるようなことは何一つしていないから
- 復活を信じられなかった女性たち
 - 「安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。そして、週の初めの日の朝ごく早く、日が出るとすぐ墓に行った。」
マルコ16:1-2 < 遺体の腐敗を防ぐために

復活のイエス様に会っても...

- 弟子たちは復活など全く期待していなかった
 - 「その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。」ヨハネ福音書20:19
- イエス様が現れても亡霊だと思った
 - 「イエス御自身が彼らの真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言われた。彼らは恐れおののき、亡霊を見ているのだと思った。」ルカ24:36-37

ルカ福音書11章29～32節

「今の時代の者たちはよこしまだ。しるしを欲しがすが、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられない。つまり、ヨナがニネベの人々に対してしるしとなったように、人の子も今の時代の者たちに対してしるしとなる。…また、ニネベの人々は裁きの時、今の時代の者たちと一緒に立ち上がり、彼らを罪に定めるであろう。ニネベの人々は、ヨナの説教を聞いて悔い改めたからである。ここに、ヨナにまさるものがある。」

＜ルカ福音書11:29-32＞

「ヨナのしるし」とは

- 預言者ヨナは敵国アッシリアの首都ニネベに行って悔い改めを求めるよう主に命じられた(前8世紀)
 - 「彼らの悪はわたしに届いている」(ヨナ書1:2)
- ヨナは主の命令を拒み、反対方向に向かう船に乗り込んだ(★滅ぼされた方が良かった)
- 大嵐に遭い、自分が原因だと名乗り出て海に放り込まれる
- **巨大な魚に飲み込まれ、三日三晩腹の中**にいて、悔い改めた
- ニネベに行って叫ぶと、ニネベの人々は神を信じ、王から庶民までが悔い改めた

ヨナにまさる者

- ヨナとイエス様の違い
 - ヨナは魚の腹の中で生きていたが、イエス様は完全に死なれた後に復活された
- 魚の腹から出てきた人の話
 - ヨナの話しを聞いて(敵であった)ニネベの人々は悔い改めた
 - 彼らは裁く側に立っている
- 死から復活された人の話
 - 自らの死と復活を正確に予告し、その通りに成られた人の話を聞いてあなたはどうしますか？
 - しかも、その死と復活は私たちのためである

「今の時代のしるし」

• 死が支配する時代

- 死の不安に恐れている私たち(コロナ・戦争)
- 死がすべての終わりであるならば、人類に希望はない

• ヨナとイエス様のしるし

- 「ヨナがニネベの人々に対してしるしとなったように、人の子も今の時代の者たちに対してしるしとなる。」
- 神は人の命をその手に握っておられる

私たちが本当に恐れなければならないのは死ではなく、生と死を支配しておられる方である

イエスは、わたしたちの罪のために死に渡され、わたしたちが義とされるために復活させられたのです。

もし、わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。

ローマ4章25節・6章5節